

提案書

本堂「内陣」西側の部屋「位牌堂」を預骨施設として利用する件について。

設営理由

- ・菩提寺が遠方であり、なかなかお参りができないし今後も遠方の墓地にお参りすることは無い。と言ってこの近辺で新たに墓地を調えるには将来的に維持が出来るのかとの不安がある。
- ・または菩提寺が分からない等の理由にて、残されたご親族のご遺骨の供養で困っている。
- ・長年連れ添った配偶者とはもう少し一緒にいたい。
その後は子供に迷惑は掛けたくないので、適当な時期に合祠堂に納めて貰えば良い。

等々、色々な不安にお応えする為の施設です。

當山の位牌堂を利用することで、その様な不安を解消すると共に、住職による毎日の供養も加わります。

故人様のご供養と共に、皆様の安心を得ていただく為にご利用頂ければと存じます。

施設の形態と業者の選定

既に納骨堂を経営している大須の萬松寺、八事の興正寺は、近じか納骨堂の設置数を大幅に増やすとのこと。

當山の近くにも新たに納骨堂が出来るそうです。

この様な現状から、納骨堂の建設を企画施行している業者の意見では、納骨堂の需要はかなり高い確率であるとのこと。

納骨堂という施設に対しては、役所により設置に対して多くの制約があります。

當山の計画しているものは、そのような役所が納骨堂に求める独立した建物ではなく、現在既にある本堂「内陣」西側の「位牌堂」を有効利用しようというものです。

ただ、當山は什物等の収容スペースが限られている為、位牌堂と什物等の収容スペースが共存できるような形態であることが必要と考えます。

そのようなことをベースに業者に見積を出して貰いました。

部屋の利用法、納骨棚の設置形態、必要経費等から、株式会社「美尚」の案を採用しようと思います。

必要経費と利用見込

収容数は棚が2台で108軒。必要経費は約1,100,000円（百十万円）。

実際にどれほどの利用が有るかは、宣伝方法に依るところが大きいですが、インターネットの當山ホームページ上での広告と、業者の紹介に依るしか募集方法はありません。基本的には、檀信徒が対象であることを考えれば、元々檀信徒数の少ない當山ではそれほどの需要はありませんが、一般向けにも対象を広げたいと考えます。預骨されたお宅が、将来的に當山の檀信徒になられるかは別として、業者による過去の事例から、預骨されているお寺で年忌法要を勤められることが多いそうです。

そうすることで、1年で2軒くらいの契約は見込めるのではないかと考えます。

直ぐに全て埋まるかも知れないし、全く需要が無いかも知れない。

楽観視もしないが、全く目処が立たないのが現状。

それでは判断が出来ないので、敢えて、1年で2軒くらいとした。

料金設定と契約期間

預骨料金は200,000円(二十万円)/1霊ですので、6軒の契約で必要経費の回収が出来ます。

当初は契約期間を「預入から20年もしくは23回忌まで」を前提とし、料金は10,000円（一万円）/1年を根拠としました。

契約期間についての見直し根拠は以下にありますが、金額は据え置きとなりました。

契約期間については、業者からは預り日から起算して20年か被供養者の23回忌が妥当ではないかとのアドバイスを受けましたが、昨今の結婚年齢の高年齢化からすると、親子の年齢差が開くと予想されるので、被供養者の33回忌迄が妥当ではないかとの判断に至りました。

（他所の資料では33回忌までの契約期間のものが圧倒的に多いです。）

以上です。

ご協議頂きたく、お願い致します。

総持院ホームページ URL : <http://soujiin.jp>

責任役員各位様

平成28年4月1日

総持院 牧野孝三